

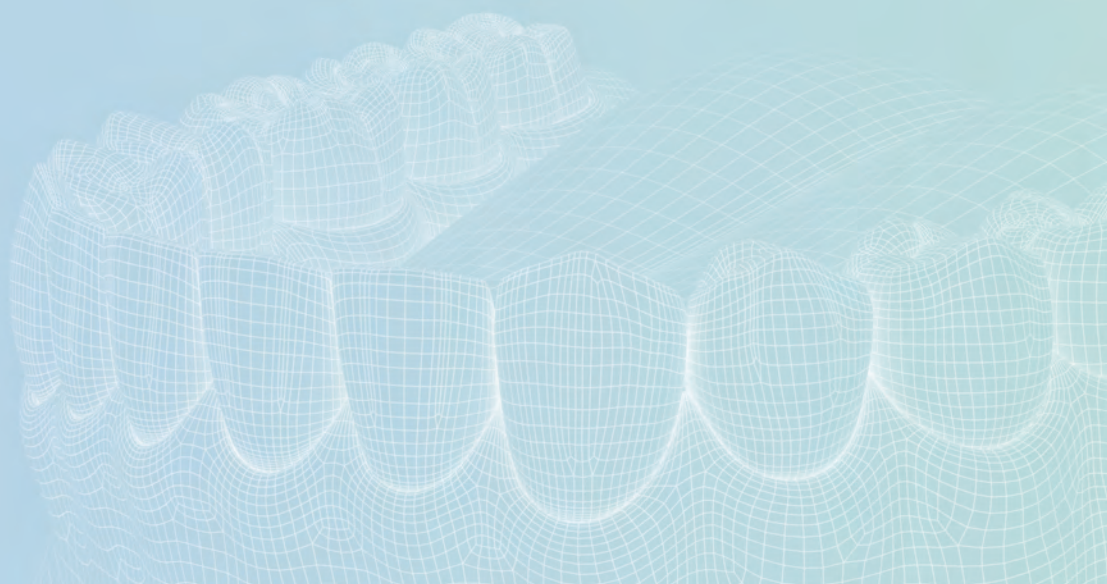
AICHI STEEL

磁性アタッチメント

マグフィット[®]



MAGFIT



高い素材技術と豊富なラインナップが品質と信頼の証。

磁性アタッチメントとは？

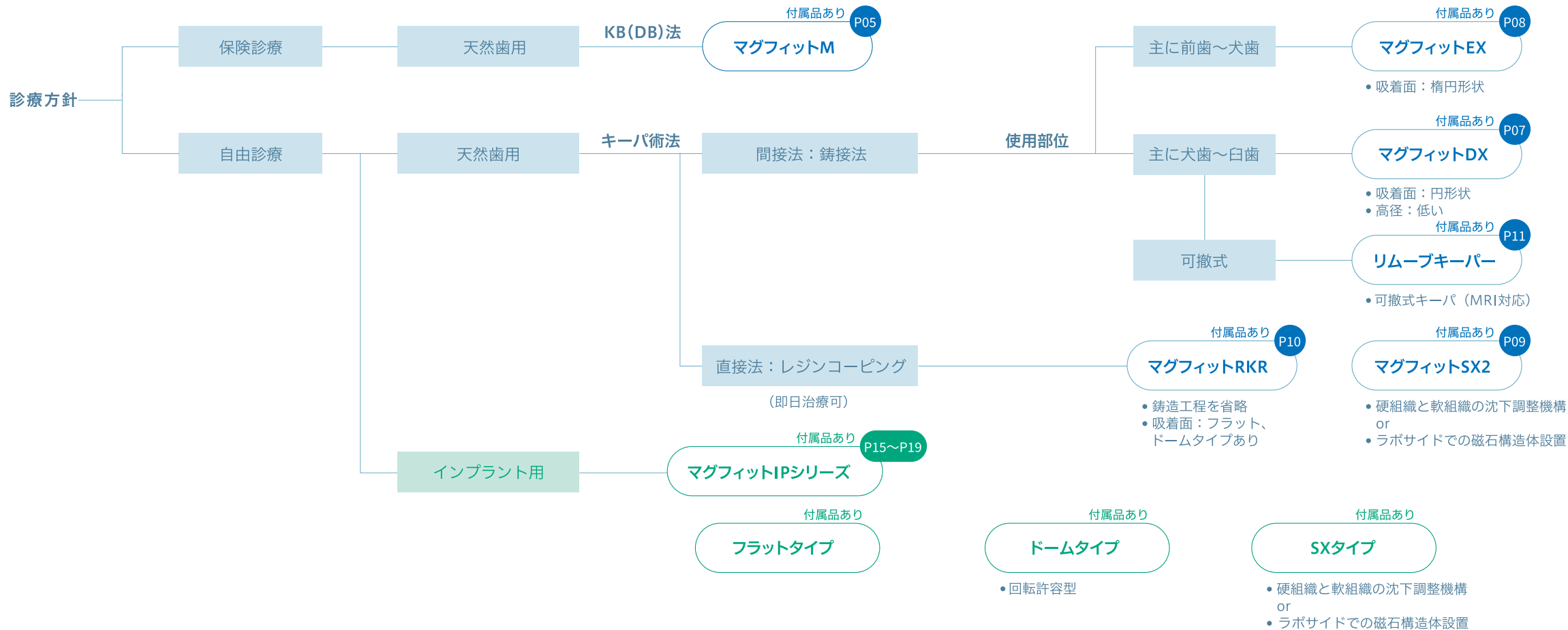
磁性アタッチメントは、義歯を維持するために小型磁石を用いた歯根アタッチメントです。
小型磁石をステンレスに封入した磁石構造体を義歯に埋め込み、支台歯またはインプラントにキーパを装着して使用します。
磁石構造体の磁力によりキーパが吸着されることで維持力が発揮されます。

マグフィットとは？

トヨタグループ素材メーカである愛知製鋼が素材開発から設計までを行っている磁性アタッチメントです。
30年以上の販売実績の中で豊富なラインナップを取り揃え、天然歯用・インプラント用それぞれにおいて、総義歯および部分床義歯に対応できる製品があるほか、2021年からは天然歯用の保険適用製品“マグフィットM”の販売を開始しました。



製品一覧



Contents

P01	製品一覧
P03	マグフィットが選ばれる理由
製品情報(天然歯用)	
P05	マグフィットM
P07	マグフィットDX
P08	マグフィットEX
P09	マグフィットSX2
P10	マグフィットRKR
P11	マグフィットリムーブキーパー
臨床ステップ(天然歯用)	
P12	マグフィットDX、EX
P13	マグフィットSX2
P14	マグフィットRKR
製品情報(インプラント用)	
P15	マグフィットIP Iシリーズ
P16	マグフィットIP STシリーズ
P17	マグフィットIP Bシリーズ
P18	マグフィットIP A1シリーズ
P19	マグフィットIP V、Fシリーズ
P20	マグフィットIP関連製品
臨床ステップ(インプラント用)	
P21	マグフィットIP
P22	注意事項

マグフィットが選ばれる理由

特長 1 着脱が容易

磁力を使って維持力を発揮するため、装着時の方向の自由度が高く、磁石構造体とキーパを接触させるのみで装着できます。機械的に嵌めこむ力は必要ありません。また、磁石の特性上、横にずらすと取り外しやすくなります。

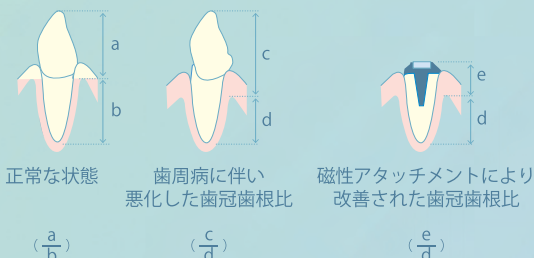
特長 2 清掃が容易

金属製のバネなどの留め具を必要とせず、凹凸部がないシンプルな構造になっているため、清掃が容易にできます。



特長 3 支台歯の歯冠歯根比の改善

支台歯の喪失に大きな影響を及ぼす因子として、支台歯の臨床的歯冠歯根比が挙げられています。歯冠歯根比が悪くなってしまった歯でも支台歯として有効に使用でき、歯冠歯根比を改善することができます。



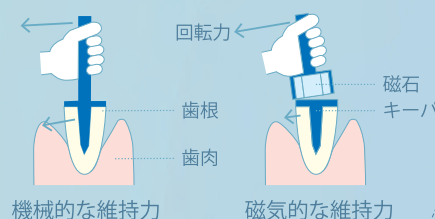
特長 4 審美性

義歯内側の磁石構造体で義歯を吸着しているため、クラスプを用いた義歯と比較して金属の露出が少ない特長があります。そのため、審美性に優れた義歯を設計しやすくなります。



特長 5 支台歯への負荷低減

側方にずれやすい性質があるため、有害な側方力や回転力が発生しにくいとされています。支台歯にとって有害な側方力に対しては、強力に維持力を発揮しないので、支台歯を側方力から守る働きがあるとされています。



磁性アタッチメントの特長

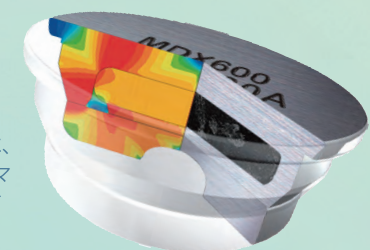


トヨタグループ 素材メーカーの 独自技術

AICHI STEEL

技術 1 閉磁路構造

磁石を有効に利用するためには、磁力を効果的に、かつスムーズに流れる磁気回路が不可欠です。マグフィットは、効率良く、外部に磁気を漏らしづらい閉磁路構造を用い、吸引力を高めました。



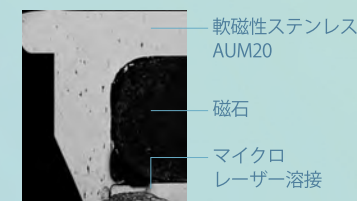
技術 2 トレーサビリティ

品質保証の一環として、トレーサビリティを重視し、すべての製品にロット番号をレーザ印字しています。マグフィットホットライン(フリーコール)を開設し、歯科医の先生方への確実で迅速な品質サービスの提供に努めています。



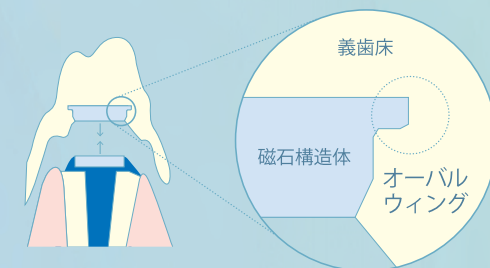
技術 3 磁性アタッチメント用 独自ステンレス鋼を採用

トヨタグループの素材メーカーとして、冶金技術を応用し、磁性アタッチメント用の耐食性に優れた軟磁性ステンレスAUM20(特許No.JP26227026)を独自開発しました。AUM20は金属アレルギーとならうるニッケルを含まない材料です。マイクロレーザー溶接技術にて、ステンレス内に磁石を封入することで、臨床に耐える構造を実現しました。



技術 4 義歯からの脱落防止機構

ウィング等を設け、義歯からの脱落防止のアンカー効果を狙った構造になっています。また、オーバルウィングは楕円形状とし、義歯内での回転防止を図っています。義歯から磁石構造体が脱落しにくいように、安心してお使いいただくことができます。なお、ダイレクトボンディング法(KB法)に対応した保険適用製品マグフィットMは、オーバルウィングと維持溝を併用して脱落防止を図っています。



保険適用製品

マグフィット® M



特長

① マグフィットシリーズ唯一の保険適用製品

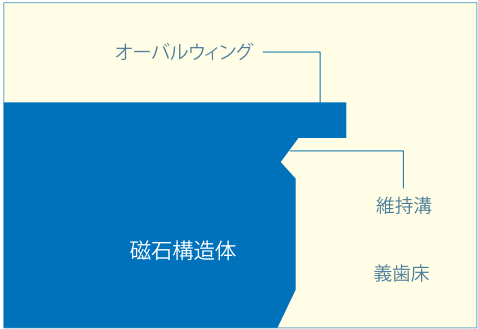
2021年にマグフィットシリーズで初めて保険適用製品になりました。

② 維持溝+オーバルウィングによる義歯固定

マグフィットMは、維持溝だけでなくマグフィットDXのオーバルウィングを併用し義歯からの脱落防止を図っています。

③ マグフィット初のダイレクトボンディング対応

ダイレクトボンディング対応のため、MRIにも対応します。



技エステップ（ダイレクトボンディング法）



① ワックスアップ
模型上でキーパーパターンの位置を決め、ワックスアップ作業を行う。※別売の「キーパーパターンM1」をご購入ください。

② キーパー接着
鑄造後に根面板を酸洗し、研磨仕上げなどを行い、キーパをレジンセメント等にて接着。

③ 根面合着
キーパを接着した状態。

④ 磁石スペース確保
支台歯へセメント合着。

⑤ 磁石合着
磁石を位置決めした後、義歯を口腔内に装着し、磁石との間のスペースを確保。

磁石の合着は、義歯の調整が完了した1～2週間後に行う。



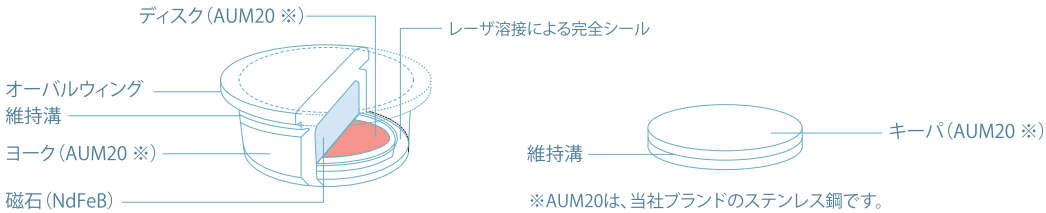
詳細な技工動画は、ホームページのマグフィット会員向け情報からご覧になれます。

仕様

基本性能				
製品名		M800	M600	M400
吸引力		800gf	600gf	400gf
磁石構造体の高さ(mm)		1.3	1.3	1.0
キーパ直径(mm)		Ø4.0	Ø3.6	Ø3.0
各部の寸法	磁石構造体(mm)	Ø4.9(×4.4) 1.3	Ø4.5(×4.0) 1.3	Ø3.9(×3.4) 1.0
	キーパ(mm)	Ø4.0 0.9	Ø3.6 0.8	Ø3.0 0.6

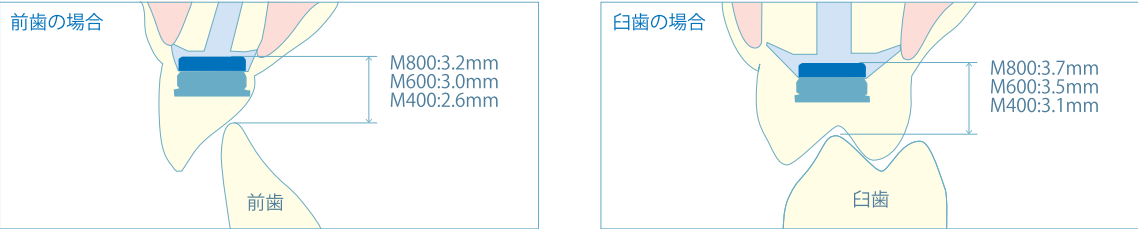
医療機器認証番号 マグフィットM：21200BZZ00089000 磁石構造体単体、キーパ単体での販売となります

構造及び材質



※AUM20は、当社ブランドのステンレス鋼です。

Mに必要な垂直距離（目安）



付属品

M400用 M600用 M800用

診断用ゲージ
マグフィットのサイズゲージ。マグフィットM、DXの400、600、800に対応しています。対合歯との間に根面板の高さや人工歯の厚みを事前に予測・チェックするために用います。

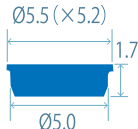
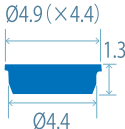
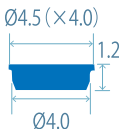
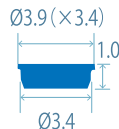
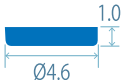
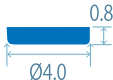
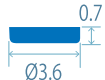
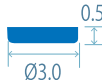
ダミー・フォーマ
磁石構造体を一回り大きくした（約0.3mm）石膏ダミーを製作するためのゴム型。

マグフィット® DX

- 吸着面が円形で取扱性に優れたディスクタイプ
- 高径の低い白歯への使用が可能
- オーバルウィングによる義歯脱落防止機構
- 鋳接法対応

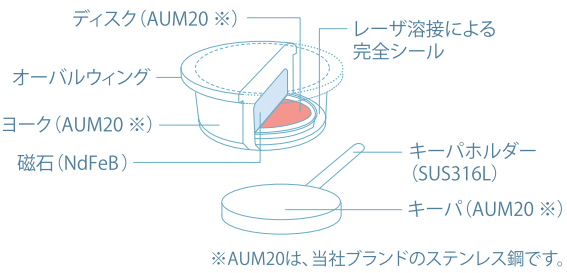


仕様

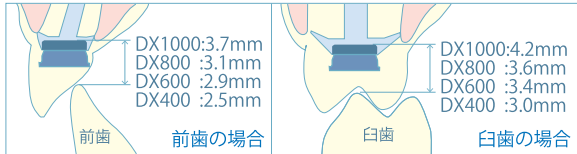
基本性能					
製品名	DX1000	DX800	DX600	DX400	
吸引力	1000gf	800gf	600gf	400gf	
磁石構造体の高さ (mm)	1.7	1.3	1.2	1.0	
キーパ直径 (mm)	Ø4.6	Ø4.0	Ø3.6	Ø3.0	
各部の寸法	磁石構造体 (mm)				
	キーパ (mm)				

医療機器認証番号 マグフィットDX：21500BZZ00411000

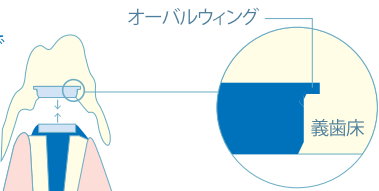
構造及び材質



DXに必要な垂直距離（目安）



オーバル・ウィングで義歯床との確実な固定の実現

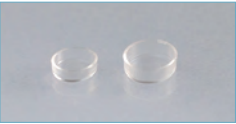


付属品



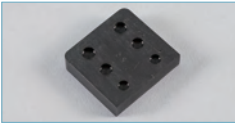
診断用ゲージ

マグフィットのサイズゲージ。マグフィットM、DXの400、600、800に対応しています。対合歯との間に入れ根面板の高さや人工歯の厚みを事前に予測・チェックするために用います。



ハウジング・パターン

マグフィットの磁石構造体のハウジング(磁石構造体のスペース)製作に用いる既製パターン。メタルフレームを用いた義歯の磁石構造体のスペースを確保するプラスチックパターン。



ダミー・フォーマ

磁石構造体を一回り大きくした(約0.3mm)石膏ダミーを作製するためのゴム型。



キーパセッタ

キーパの上に置き、キーパの傾きを確認する製品。



キーパキャリア

先端部に永久磁石を備えたハンドインストルメント。

マグフィット® EX

- 歯の形に合わせた楕円形状
- 前歯部など狭いスペースへの適用が容易
- ヨーク側面のウィングによる義歯脱落防止機構
- 鋳接法対応

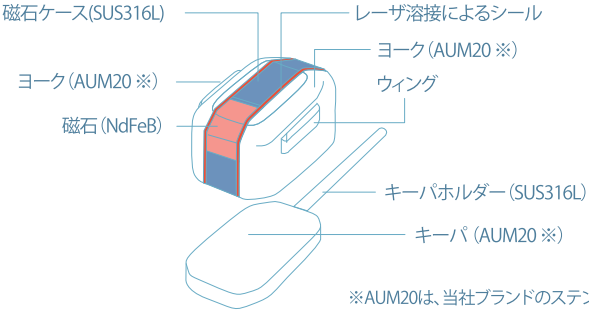


仕様

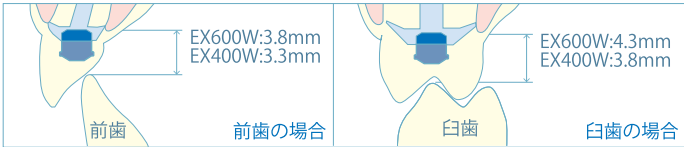
基本性能		
製品名	EX600W	EX400W
吸引力	600gf	400gf
磁石構造体の高さ (mm)	1.8	1.5
吸着面寸法 (mm)	3.8×2.8	3.4×2.4

医療機器認証番号 マグフィットEX：20700BZZ01064000
マグフィットEXキーパ：20900BZZ00746000

構造及び材質

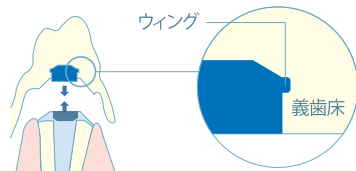


EX600W/400Wに必要な垂直距離（目安）



維持安定性の向上

磁石構造体にウィングを付与し、義歯床との確実な固定を実現します。



付属品



診断用ゲージ

マグフィットEX専用のサイズゲージ。対合歯との間に入れ根面板の高さや人工歯の厚みを事前に予測・チェックするために用います。



ハウジング・パターン

マグフィットの磁石構造体のハウジング(磁石構造体のスペース)製作に用いる既製パターン。メタルフレームを用いた義歯の磁石構造体のスペースを確保するプラスチックパターン。



ダミー・フォーマ

磁石構造体を一回り大きくした(約0.3mm)石膏ダミーを作製するためのゴム型。



キーパセッタ

キーパの上に置き、キーパの傾きを確認する製品。



キーパキャリア

先端部に永久磁石を備えたハンドインストルメント。

マグフィット® SX2

- 軟組織と硬組織との沈下量の差をアジャストするスライド機構
- ラボサイドでも磁石構造体の義歯への合着が可能
- 義歯の複合的な動きに対応可能
- 即日治療可能



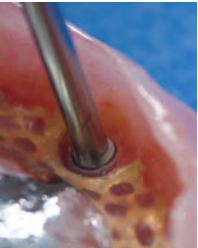
仕様

基本性能				
製品名		Lタイプ		Sタイプ
吸引力		600gf		400gf
漏洩磁場		0.003T		0.002T
各部の寸法	磁石構造体 (mm)	外径 ①	Ø5.2	Ø4.7
		高さ ②	1.6	1.4
	キーパー式 (mm)	吸着面径 ③	Ø3.7	Ø3.3
		高さ ④	7.7	7.5

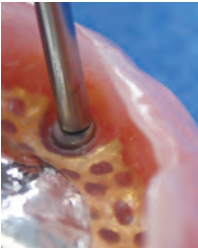
医療機器認証番号 マグフィットSX2：21700BZZ00144000

義歯の複合的な動きへの対応

義歯の動きに合わせて上下方向に最大で0.4mm、または8°傾斜することが可能です。キャップの嵌合力(脱着試験)は約15kgfです。

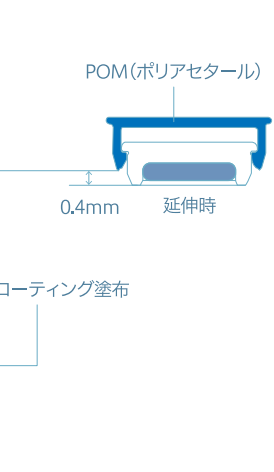


圧縮時



延伸時

義歯に合着した磁石構造体の動き



使用上の注意

- プラスチックキャップが口腔内での長期使用により劣化する場合があります。
- リライン時に付属品のメタルスペーサが必要になります。

付属品

以下のアクセサリーを同梱しています。

- ① プラスチックダミー：磁石構造体合着のスペースを確保します。
- ② ワッシャタイプスペーサ：義歯の沈下空隙を確保します。
- ③ メタルスペーサ：磁石の垂直的な沈下量補正のスペースを確保します。

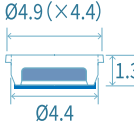
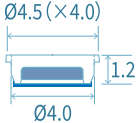
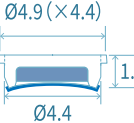
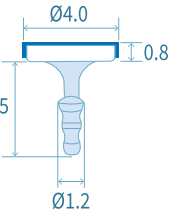
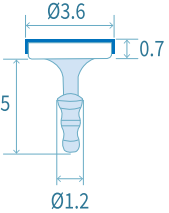
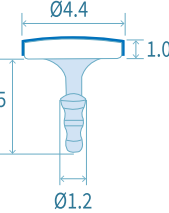


マグフィット® RKR

- 鋳接作業が省略できるキャストレスキーパシステム
- 歯根に直接レジンでコーピングできるため、症例によっては即日治療も可能
- ポスト部表面のレジンコーティングが根管内での維持安定性を向上

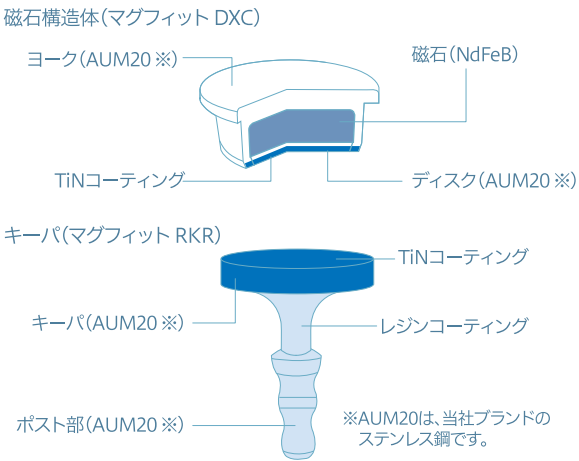


仕様

基本性能				
品番		RKDX-FL	RKDX-FS	RKDX-D
特徴	吸着面	フラット形状		ドーム形状
	サイズ	Lサイズ	Sサイズ	
形状	磁石構造体 (DXC) (mm)			
	キーパ (RKR) (mm)			
吸着面		吸着面へのTiNコーティング		
吸引力		800 gf	600 gf	600 gf
漏洩磁場		0.003 T	0.002 T	0.003 T

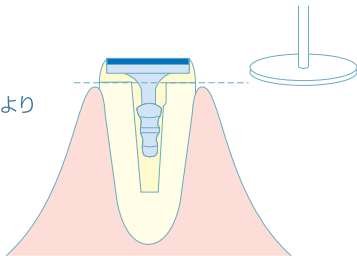
医療機器認証番号 マグフィットDXC：21500BZZ00443000
マグフィットRKR：21600BZZ00340000

構造及び材質

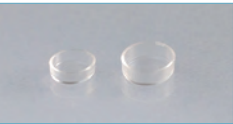


MRI検査対応

キーパ部分の撤去により対応可能。

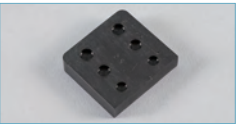


付属品



ハウジング・パターン

マグフィットの磁石構造体のハウジング(磁石構造体のスペース)製作に用いる既製パターン。メタルフレームを用いた義歯の磁石構造体のスペースを確保するプラスチックパターン。



ダミー・フォーマ

磁石構造体を一回り大きくした(約0.3mm)石膏ダミーを作製するためのゴム型。



キーパキャリア

先端部に永久磁石を備えたハンドインストルメント。

医療機器届出番号 マグフィットハウジングパターン：23B1X10004000001

リムーブキーパー

- キーパ可撤式
- キーパを簡単に取り外せ、MRI検査に対応
- キーパを直接鑄接しないため、キーパ表面の研磨・酸処理が不要になり、吸引力低下を防止



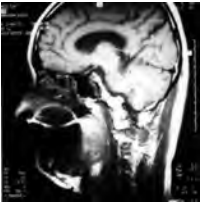
仕様

基本性能			
吸引力		600 gf	
漏洩磁場		0.003T	
寸法	磁石構造体	高径(mm)	1.2
		最外径(mm)	4.5×4.0
	キーパー式	仕上げ後高径(mm)	0.8
		吸着面径(mm)	Ø3.6
		最外径(mm)	Ø4.0

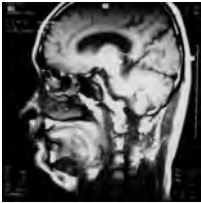
医療機器認証番号 マグフィットDX：21500BZZ00411000
リムーブキーパー：21100BZZ00752000

参考

- MRI撮像におけるアーチファクト（画像障害像）：写真1（資料提供：東京医科歯科大学大学院 摂食機能構築学）磁性材料（キーパ）が装着された補綴物近傍にはアーチファクトが発生し、口腔内の診断などに支障が出る場合がある。
- アーチファクトの大きさの比較：図1



キーパあり



キーパなし

写真1 MRI撮像におけるアーチファクト

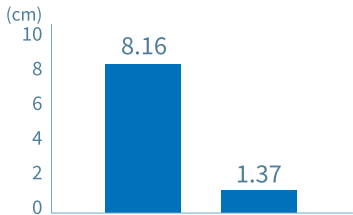


図1 アーチファクトの大きさの比較

使用上の注意

- 支台歯の形成を凹面状（直径 約4.0mm）にすると吸着面を低くすることができます。（図2参照）
- クリアランスは、約5.0mm以上が適当です。
- キーパを鑄造する際には、専用の鑄造治具を使用してください。（写真2参照）

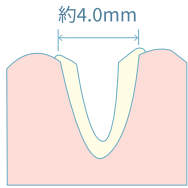


図2 支台歯形成



写真2 鑄造治具

マグフィット® DX / EX

基本臨床ステップ

特長

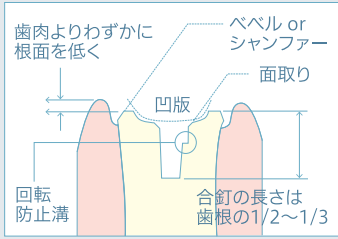
支台歯の形成や技工操作は通常の支台歯（根面）形成・根面板の製作・磁石構造体の取付けとシンプルな工程からなります。高度な治療技術でありながら、特殊な器具が不要です。

01 術前の口腔内



上顎両側犬歯を支台歯としてマグフィットを維持装置とするオーバーデンチャーを作製します。

02 支台歯形成



根面形成、根管形成を行い、回転防止溝を付与し、支台歯形成を行います。

03 マグフィットの選択



診断用ゲージを使い、高径と歯根断面を確認し、使用する磁石を決定します。

04 キーパの溶接



作業用模型上、キーパの口ウ型への溶接は咬合平面と平行になるようにします。

05 根面の着合



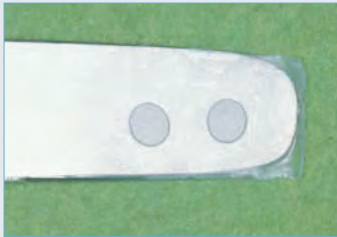
キーパを鑄接した根面板を酸洗し、研磨仕上げした後、支台歯へセメント合着します。

06 磁石スペースの確保



磁石の位置決めをした後、義歯を口腔内に装着し、磁石構造体との間のスペースを確保します。

07 サンドブラスト処理



常温重合レジンとの接着強度を高めるため、アルミナサンドブラスト処理を施し、金属プライマーを塗布します。

08 磁石構造体の合着



磁石構造体合着は、義歯の調整が完了した1～2週間後に行います。

09 磁石式義歯の完成



完成義歯を口腔内に装着した状態です。

マグフィット® SX2

基本臨床ステップ

特長

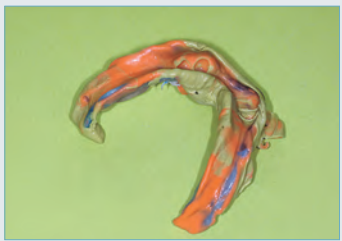
0.4mmのスライド機構が粘膜と支台歯の沈下度の違いをセルフコントロールします。義歯への磁石の取り付けが技工所で実施できるシステムです。スライド機構を生かすために、3種類の付属品（プラスチックダミー、ワッシャタイプスペーサ、メタルスペーサ）があります。

01 支台歯形成・根面板作製



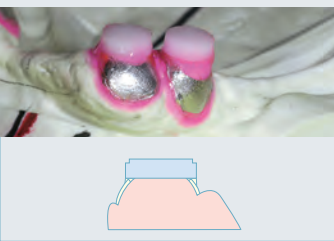
マグフィットRKR基本臨床ステップ(P14)を参考にし、根面板を作製します。

02 印象採得



キーパが取り付けられた支台歯に対し、個人トレーを用いて印象採得します。

03 プラスチックダミーとワッシャタイプスペーサの設置



作業用模型を作製します。模型のキーパ上にプラスチックダミーを固定し（瞬間接着剤を使用）、キーパ部にワッシャタイプスペーサを圧接します。その後、アンダーカット部をモデルリペア剤などで埋めます。

04 義歯製作



通法に従って重合し、取り出した後、バリを研磨します。

05 プラスチックダミーの除去



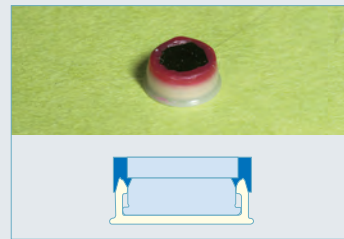
プラスチックダミーにフィッシャーバーなどで溝をつけて除去します。この際、磁石構造体のスペースに傷をつけないようにします。

06 ワッシャタイプスペーサの除去



エバンスなどのインスツルメントで、ワッシャタイプスペーサを取り除き、内面を整えます。

07 磁石構造体の前準備



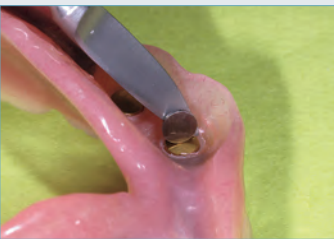
磁石構造体の吸着面にメタルスペーサを吸着させ、その周辺をワックスで封鎖します。

08 磁石構造体の取り付け



磁石構造体をシアノアクリレートで仮着後、義歯と磁石構造体のスペースに即重レジンで筆盛で充填します。

09 メタルスペーサの除去



スチーマーによりワックスを除去し、洗浄後、スペーサを取り除きます。

マグフィット® RKR

基本臨床ステップ

特長

鑄接作業が省略できるキャストレスキーパです。歯根に直接レジンでコーピングできるので、症例によっては即日治療も可能です。ポスト部表面のレジンコーティングが根管内での維持安定性を確かなものになっています。

01 術前治療



歯内治療完了後、根管の長さ、充填状態、歯列及び根管の曲がりをX線写真にて確認します。

02 根面形成



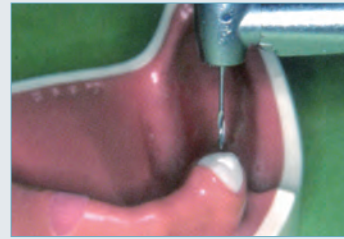
健康な硬質象牙質を歯根表面に残し、齧食組織があった場合、そのすべてを取り除きます。

03 根面形成の完成



キーパ吸着面と咬合平面を平行にするため、歯根表面と咬合平面を平行にしておく方が、ルートキーパを装着しやすくなります。

04 根管形成



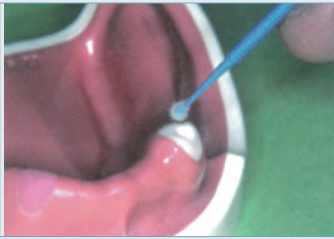
ピーソーリーマーを用いて根管形成します。ポストの外径よりも若干大きめのØ1.5mm程度の根管形成が推奨とされます。また、根管充填材の根尖封鎖部長さは3mm以上残す事が望ましいとされます。

05 キーパの試適



ポストは根管に容易に挿入できなければなりません。さらに、キーパ底面と歯根表面の距離は、できるだけ小さく、かつキーパと咬合平面が平行となるようにして下さい。

06 キーパ挿入の前処理



デュアルキュアタイプのコンポジットレジンを用いて支台築造後、根管内に注入します。

07 キーパの挿入



挿入前に、吸着面を除くキーパの表面にコンポジットレジンを塗布し、ポストの溝を十分なレジンにて満たしておきます。そして、歯根面にルートキーパを挿入します。

08 形態修正



キーパを削らないように注意し、形を整え、その後研磨します。歯根からはみ出た過剰のレジンが歯肉炎を防ぐために取り除きます。

09 完成



レジンコーピングの完成です。

マグフィット® IP | シリーズ

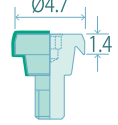
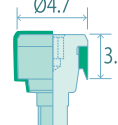
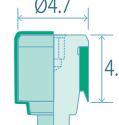
インプラント適合品番

- Straumann：スタンダードインプラント
スタンダードプラスインプラント
- Swiss Plus： Ø4.8mm Dプラットフォーム/ No.SPB8-14・SPWB8-14・OPB8-14・OPWB8-14



仕様

基本性能

キーパ(mm)			
磁石構造体	14 タイプ	30 タイプ	45 タイプ
フラット			
DXFL	IFD14	IFD30	IFD45
吸引力	750 gf		
SX			
SXFL	IFX14	IFX30	IFX45
吸引力	550 gf		

材質

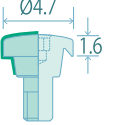
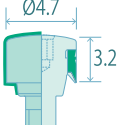
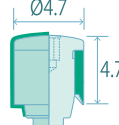
- キーパ：AUM20
但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。
- リング部：Ti

推奨締付けトルク

- 25～30N・cm

工具

- キーパの締付けには専用工具または1.3mmの六角ドライバ(20ページ参照)が必要です。

キーパ(mm)			
磁石構造体	14 タイプ	30 タイプ	45 タイプ
ドーム			
DXD	IDD14	IDD30	IDD45
吸引力	600 gf		

オプション

	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)
	吸引力	900 gf
	サイズ	Ø4.2mm
	高さ	1.3 mm

マグフィット® IP-ST

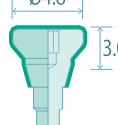
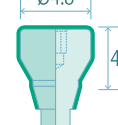
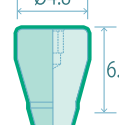
インプラント適合品番

- Straumann：BLTインプラント/ Ø3.3mm NC・Φ4.1mm RC・Φ4.8mm RC

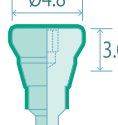
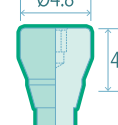
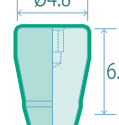


仕様

基本性能 ナロークロスフィット (NC) 用

キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	45タイプ	60 タイプ
フラット			
DXFL	IFD30BN	IFD45BN	IFD60BN
吸引力	750 gf		
SX			
SXFL	IFX30BN	IFX45BN	IFX60BN
吸引力	550 gf		

基本性能 レギュラークロスフィット (RC) 用

キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	45タイプ	60 タイプ
フラット			
DXFL	IFD30BR	IFD45BR	IFD60BR
吸引力	750 gf		
SX			
SXFL	IFX30BR	IFX45BR	IFX60BR
吸引力	550 gf		

材質

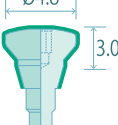
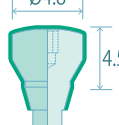
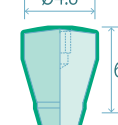
- キーパ：AUM20
但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。

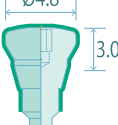
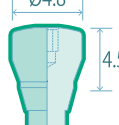
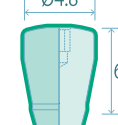
工具

- キーパの締付けには専用工具または1.3mmの六角ドライバ(20ページ参照)が必要です。

推奨締付けトルク

- 25～30N・cm

キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	45 タイプ	60 タイプ
ドーム			
DXD	IDD30BN	IDD45BN	IDD60BN
吸引力	600 gf		

キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	45 タイプ	60 タイプ
ドーム			
DXD	IDD30BR	IDD45BR	IDD60BR
吸引力	600 gf		

オプション

	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)
	吸引力	900 gf
	サイズ	Ø4.2mm
	高さ	1.3 mm

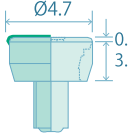
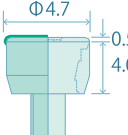
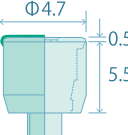
マグフィット® IP B シリーズ

- インプラント適合品番
- Branemark：レギュラープラットフォーム Ø3.75・4.0
 - 3i：スタンダードインプラント Ø3.75・4.0
 - ENDOPORE：No. 01B-7I1-12I2



仕様

基本性能

キーパ(mm)			
	Ø4.7 0.5 3.1	Ø4.7 0.5 4.0	Ø4.7 0.5 5.5
磁石構造体	30 タイプ	40 タイプ	55 タイプ
フラット			
	BFD30	BFD40	BFD55
DXFL			
吸引力	750 gf		
SX			
	BFX30	BFX40	BFX55
SXFL			
吸引力	550 gf		

材質

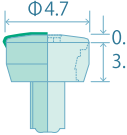
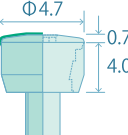
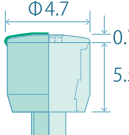
- キーバスクリュー：AUM20
但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。
- リング部：Ti

推奨締付けトルク

- 25～30N・cm

工具

- キーパの締付けには専用工具または1.3mmの六角ドライバ(20ページ参照)が必要です。

キーパ(mm)			
	Ø4.7 0.7 3.1	Ø4.7 0.7 4.0	Ø4.7 0.7 5.5
磁石構造体	30 タイプ	40 タイプ	55 タイプ
ドーム			
	BDD30	BDD40	BDD55
DXD			
吸引力	600 gf		

オプション

	DXF2L	
	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)
	吸引力	900 gf
	サイズ	Ø4.2mm
	高さ	1.3 mm

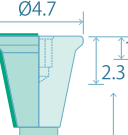
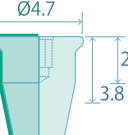
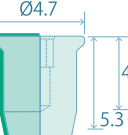
マグフィット® IP A1シリーズ

- インプラント適合品番
- アストラテックインプラント：Micro Thread 4.0ST／4.5ST／5.0ST
※オッセオスピード 3.5S、4.0Sには適合しません。



仕様

基本性能

キーパ(mm)			
	Ø4.7 1.0 2.3	Ø4.7 2.5 3.8	Ø4.7 4.0 5.3
	フィクスチャーから吸着面の頂点までの高径		
	Sタイプ	Mタイプ	Lタイプ
	※フィクスチャーから吸着面の頂点までの高さの表示について 左の数値 Micro Thread 4.0STに組付時 右の数値 Micro Thread 4.5ST/5.0ST組付時		
磁石構造体			
フラット			
	AFDS	AFDM	AFDL
DXFL			
吸引力	750 gf		
SX			
	AFXS	AFXM	AFXL
SXFL			
吸引力	550 gf		

材質

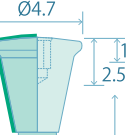
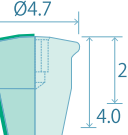
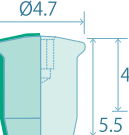
- キーバスクリュー：AUM20
但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。

推奨締付けトルク

- 25～30N・cm

工具

- アストラテックインプラント工具をご使用できます。

キーパ(mm)			
	Ø4.7 1.2 2.5	Ø4.7 2.7 4.0	Ø4.7 4.2 5.5
	フィクスチャーから吸着面の頂点までの高径		
	Sタイプ	Mタイプ	Lタイプ
	※フィクスチャーから吸着面の頂点までの高さの表示について 左の数値 Micro Thread 4.0STに組付時 右の数値 Micro Thread 4.5ST/5.0ST組付時		
磁石構造体			
ドーム			
	ADDS	ADDM	ADDL
DXD			
吸引力	600 gf		

オプション

	DXF2L	
	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)
	吸引力	900 gf
	サイズ	Ø4.2mm
	高さ	1.3 mm

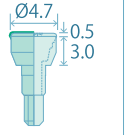
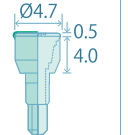
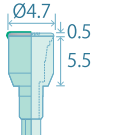
マグフィット® IP

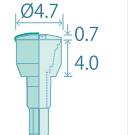
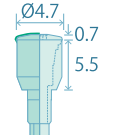
Vシリーズ

インプラント適合品番
•リプレイスセレクトストレート／テーパードレギュラープラットフォーム Ø4.3



仕様

基本性能			
キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	40 タイプ	55 タイプ
フラット  DXFL	VFD30	VFD40	VFD55
吸引力	750 gf		
SX  SXFL	VFX30	VFX40	VFX55
吸引力	550 gf		
オプション			
 DXF2L	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)	
	吸引力	900 gf	
	サイズ	Ø4.2mm	
	高さ	1.3 mm	

キーパ(mm)			
磁石構造体	30 タイプ	40 タイプ	55 タイプ
ドーム  DXD	VDD30	VDD40	VDD55
吸引力	600 gf		
医療機器承認番号 マグフィット IP : 22300BZX00080000			
材質 • キーパスクリュー : AUM20 但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。 リング部 : Ti			
推奨締付けトルク • 25〜30N・cm			
工具 • キーパの締付けには専用工具または1.3mmの六角ドライバ(20ページ参照)が必要です。			

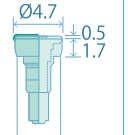
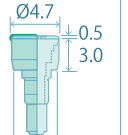
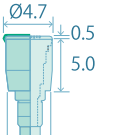
マグフィット® IP

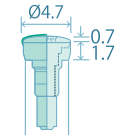
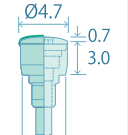
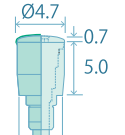
Fシリーズ

インプラント適合品番
•Frialit2 : D4.5・3.8mmタイプ:ステップシリンダー／ステップスクリュー



仕様

基本性能			
キーパ(mm)			
磁石構造体	17 タイプ	30 タイプ	50 タイプ
フラット  DXFL	FFD17S FFD17L	FFD30S FFD30L	FFD50S FFD50L
吸引力	750 gf		
SX  SXFL	FFX17S FFX17L	FFX30S FFX30L	FFX50S FFX50L
吸引力	550 gf		
オプション			
 DXF2L	特長	高吸引力型IP用磁石構造体(フラットタイプ)	
	吸引力	900 gf	
	サイズ	Ø4.2mm	
	高さ	1.3 mm	

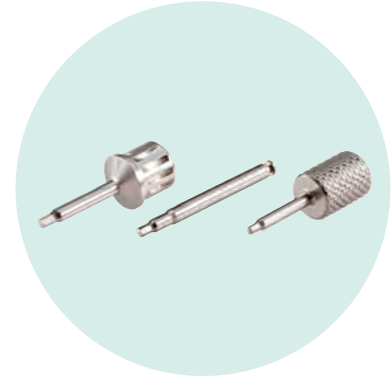
キーパ(mm)			
磁石構造体	17 タイプ	30 タイプ	50 タイプ
ドーム  DXD	FDD17S FDD17L	FDD30S FDD30L	FDD50S FDD50L
吸引力	600 gf		
医療機器承認番号 マグフィット IP : 22300BZX00080000			
材質 • キーパスクリュー : AUM20 但しキーパの表面は耐摩耗性を向上させるためTiNコーティングが施されています。 リング部 : Ti			
推奨締付けトルク • 20~25N・cm			
工具 • キーパの締付けには専用工具または1.3mmの六角ドライバ(20ページ参照) が必要です。			

インプラント用関連製品

キーパ組付け用六角ドライバ

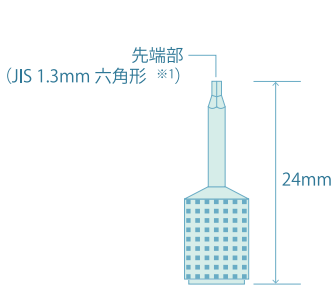
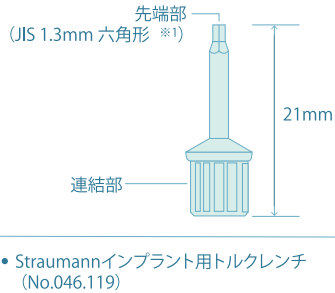
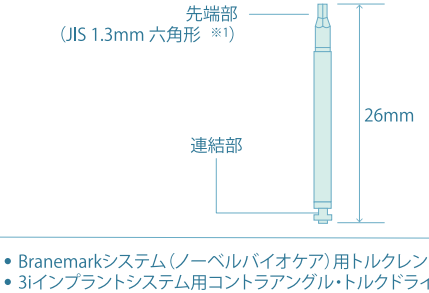
マグフィットIPキーパは、下記インプラントメーカードライバで締め付け可能です。

メーカー	対応ドライバ
アストラテック	ヘックスドライバ 0.05"
エンドポア	ヘックスドライバ 0.05"
カルシテック	ヘックスドライバ 0.05"
プラトン	ヘックスドライバ SS,S,L
スイスプラス・スクリューベント	ヘックスドライバ 1.25mm



マグフィットIP用六角ドライバ

マグフィットIP用キーパの締め付けには、先端部がJIS1.3mm六角形のドライバが必要になります。
キーパは必ず推奨トルクで締め付けてご使用ください。

仮締め用	トルクコントローラ用	
1.3HDI	1.3MDI	1.3MDB
		
	• Straumannインプラント用トルクレンチ (No.046.119)	• Branemarkシステム(ノーベルバイオケア)用トルクレンチ • 3iインプラントシステム用コントラングル・トルクドライバ (No.CATDB) • POIシステム用ハンドトルクドライバ

※1:0.05インチのヘックスドライバ相当

付属品



ハウジング・パターン
マグフィットの磁石構造体のハウジング(磁石構造体のスペース)製作に用いる既製パターン。メタルフレームを用いた義歯の磁石構造体のスペースを確保するプラスチックパターン。



ダミー・フォーマ
磁石構造体を一回り大きくした(約0.3mm)石膏ダミーを製作するためのゴム型。



マウンティングリング
磁石構造体をキーパ上の適切な位置に保持し、合着時に横ずれを防ぐ(低減すること)を目的としたアクセサリ。
※マウンティングリングの詳しい使用法はホームページをご覧ください。



マウンティングリムーバ
義歯に合着されたマウンティングリングを 義歯から取り外すことを目的としたアクセサリ。
※マウンティングリムーバの詳しい使用法はホームページをご覧ください。

医療機器届出番号 マグフィットハウジングパターン : 23B1X10004000001 マウンティングリング : 23B1X10004000004
マウンティングリムーバ : 23B1X10004000005 IPドライバ : 23B1X10004000002

マグフィット® IP

基本臨床ステップ

特長

インプラントに磁石を用いると、有害な側方力を逃すことができるため支台への負担を軽減することができます。遊離端義歯の咬合時の動揺には、球面形状の吸着面をもつドームタイプまたは樹脂製キャップをもつSXタイプの磁性アタッチメントが対応します。

01 インプラントの植立



通法に従い、インプラントを植立します。

02 顎骨の状態の確認



X線写真などで顎骨の状態の確認をします。

03 キーパの取り付け



所定のドライバにて規定の締付トルク値でキーパを取り付けます。

04 義歯設計



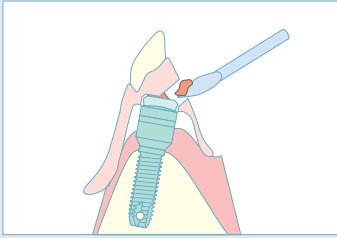
印象採得を行い、作業用模型を作製します。通法に従って義歯の設計、製作を行います。

05 義歯作製



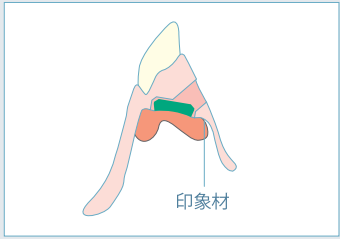
作業模型上のアンダーカット部を事前にリリースして義歯を作製します。このとき義歯床には磁石構造体合着用のスペースを設けておきます。

06 磁石構造体部分合着



作業穴を開け、口腔内で貫通上部より磁石構造体とキーパの位置を確認しながら筆盛りにて磁石構造体を部分的に合着します。

07 完全合着



部分合着後、義歯を外し完全合着を行います。その際、レジンの流出を防ぎ、アンダーカット部に流れ込みを防ぐために吸着面側を印象材を用いて封鎖します。

08 磁石式義歯の完成



磁石構造体が装着された義歯内面です。

09 装着した状態



完成義歯を口腔内に装着した状態です。

上記は、都尾元宣教授(朝日大学)よりご提供頂いた臨床のケースです。

注意事項

画像診断時の注意

義歯は画像診断においてその妨げとなる可能性があります。一般X線検査を除く画像診断を行う際は、磁性アタッチメントを装着した義歯を外し、検査室に持ち込まないでいただくことを患者様にご説明してください。

特にMRI検査での注意

マグフィットを使用している患者様は、義歯に磁石構造体、口腔内にキーパ(磁石につく素材)が設置されています。そのため、MRI検査時に注意が必要となります。

義歯への影響

頭部・腹部にかかわらず義歯を装着したままMRI検査を受けた場合、MRI装置から発生される強い磁場により磁石構造体の吸引力が低下します。磁石構造体を装着した義歯を取り外して受診するように、必要事項を記入したマグフィットカードを患者様へ渡した上、十分にご説明ください。

マグフィットカード

●患者さんへ

MRI検査の場合は、義歯を外して受けてください。装着したまま検査を受けると、磁力の低下及びMRI撮影の画像への歪が生じます。検査の際には担当医にこのカードを示してください。
なお、海外でMRI撮影をする場合や、空港での高感度金属探知機などで問題視された場合は、裏面の英文を係員に示してください。

●担当医殿

このカードの持参者
殿は下記の歯牙に磁性材料が適用されています。MRI診断に支障のある場合は、必ず当方にご連絡ください。

適用部位
(○印)

87654321 | 12345678
87654321 | 12345678

MAGFIT CARD

To whom it may concern:

This person named Mr./Ms. _____ wears a specific denture installed by magnetic attachment. It may cause disturbances during magntic security checks or medical Magnetic Resonance Imaging examinations.

Dentist: _____

●歯科医院、歯科技工所殿

本カードに必要事項を記入の上、患者さんへお渡しください。

年 月 日

歯科医師名

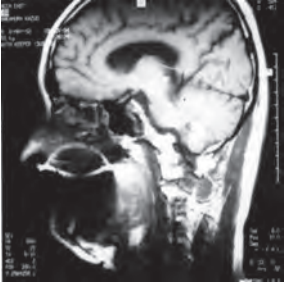
歯科医院名

歯科医院住所

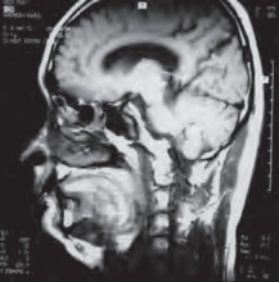
TEL FAX

頭部MRI画像への影響

キーパを中心にゴルフボール程度のアーチファクトができるため、この部位のMRI検査が困難になります。診断部位と重なるなどの理由でMRI検査を行う医師からキーパの撤去を要求された時には、インプラント用はドライバで取り外す、天然歯用はキーパ部分をバーで2分割して取り外すなどの対応をお願いします。なお、天然歯用は、新たなキーパを接着レンジで固定することになります。この説明もあわせて患者様へ行ってください。



キーパあり



キーパなし

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社

〒470-2105 愛知県知多郡東浦町大字藤江字南栄町1丁目12番地
スマートカンパニー デンタル事業チーム

e-mail: magfit@he.aichi-steel.co.jp

https://www.aichi-steel.co.jp/sp_info/SPINFO/magfit/



詳細な情報はホームページをご覧ください。

マグフィットは愛知製鋼株式会社の登録商標です。製品の仕様は改良のため
お断り無く変更する場合がございますのでご了承ください。

ご使用に際しては、必ず添付文書をお読みください。

 **0120-34-0632**

●受付時間 9:00～12:00 13:00～16:30（土日祝日は除く）